



本日は 第2966回 例会
プログラム
対象者により添って
No.2785 2月18日(木)

次週以降の予定
2月25日(木) ゲスト卓話
3月3日(木) ゲスト卓話
3月10日(木) ゲスト卓話

第2964回 例会報告

2016年 2月4日(木)

会長挨拶・報告



今日は2月4日と言うことで、2016年もひと月過ぎてしまいました。今年、閏年で2月29日まであり1年366日の年であります。うるう年を漢字で書くと「閏年」と書きます。「閏」の漢字には、「あまり」とか「余分」という意味があり、「潤」の漢字は、余分な水分があり「うるおう」となるそうです。そしてその「うるう」という読みは、「潤(うるおう)」と「閏(うるう)」を書き間違えたんだとか言われています。そのことから「閏年」の「うるおううるう」ともじってつけられたそうなんです。それから英語で閏年(うるう年)を何と言うかという「leap year(リープ・イヤー)」と言います。「leap」の意味が跳ねる、飛躍するなどで閏年の意味は「年が跳ぶ」です。閏年の意味「年が跳ぶ」とは、例えば、ある年の3月1日が月曜日ならば翌年の同じ日は火曜日、翌々年は水曜日、と1日ずつずれていくはずですが、しかし、閏年では、3月1日以降の曜日が1つではなく、もう1つ飛んで2つずれるので「leap year(年が跳ぶ)」と呼ぶんだそうです。閏年は、一年365日ではなく、366日で4年に1回だと言う事は、みなさんご存知のとおりですが、閏年の計算をすると、太陽の周りを地球が一周する日数が実は365日ではなく365.24190日なんので、閏年は1年が365.242190日であることから、その誤差を修正するために生じます。1年で0.2422日の誤差なので、4年で0.9688日の誤差ができるので、4年に1回だけ1年を閏年の366日にします。閏年のグレゴリウス暦での決め方は、閏年とは西暦年が4で割り切れる年は閏年ですが、閏年の例外は、4で割り切れる年1であっても西暦年が100で割り切れる場合は、閏年としなく、100で割り切れる年でも西暦年が400で割り切れる場合は、閏年となります。2000年がこの例外の例外に当たり、なんと400年に一度の修正だったんですが、この事を私は知りませんでした。

次に、2月1日の第1回IM実行委員会と2月2日の次年度第2回理事会、2月3日の野球同好会新年会に参加された会員の皆様連日お疲れ様でした。どうぞ宜しくお願いいたします。以上で会長挨拶、報告を終わります。

幹事報告



- ①. 赤平・砂川・川萌・深川RCより2月の例会プログラムと会報が届いております。
- ②. ロータリー財団・米山記念奨学会より確定申告提出用の領収書が届きましたので、該当者にお配りします。
- ③. 本日午後6時30分より、第14回定例理事会を開催いたしました。関係者はご出席をお願いいたします。
- ④. 来週11日(木)の例会は休会ですので、お間違えの無いようご注意ください。

2月の祝福

IMのご案内



IM実行委員会 細田 光人 実行委員長
4月9日(土) ホテルスエヒロ 16:00~例会
17:00~式典
『4クラブ対抗のボウリング・麻雀を開催します。実行委員会は野球同好会のメンバーを当てさせていただきます。』
IM実行委員会 2月9日(火) ロータリー事務局にて開催
3月より例会終了後随時

同好会報告

麻雀同好会
宮崎会長年度、第2回麻雀大会開催のご案内。2月25日(木)午後6時...集合・食事、午後6時30分...試合開始。場所はホテルスエヒロ、会費3,000円。2月18日(木)までに、出欠の返事を願います。

ロータリーの友誌2月号紹介

先週のプログラム

◇会員増強委員会担当例会◇
— 新入会員卓話 —



村田 雅彦 会員

今日は昨年のラグビーワールドカップで日本が南アフリカに勝利した試合から弁護士として仕事をしていく上で重要な示唆を得ることができたと思っておりますので、そのお話をさせていただこうと思います。何でラグビーなのかといいますと、私は物心ついたときから父親と一緒にテレビでラグビー観戦をしたり、学生時代には秩父宮ラグビー場に行ったりしており、ラグビーが野球と同じくらい大好きだからです。私がこの試合で感じたことは3つです。1つ目は自己研の大切さ、2つ目は冷静な状況分析、3つ目は果敢な決断です。

早速ですが、この試合を振り返ってみます。日本と南アフリカの実力差は相撲でいえば横綱と幕下の方ぐらいといえどイメージしやすいかも知れません。試合前の予想も天地がひっくり返っても南アフリカが圧倒的な差で勝つといったものだったと思います。日本が勝つことになればまさに大金星です(実際に史上最大の番狂わせ、アップセットと言われました)。場面は、この試合の最終盤試合終了4秒前の79分56秒です。このとき29対32の3点差で南アフリカがリードしていました。日本が南アフリカのゴールライン直前まで攻め込んだところで、南アフリカがペナルティを犯します。この場面での日本の選択肢は2つ。ペナルティゴールを狙い3点を取って同点で試合終了にするか、スクラムからトライを狙い5点を取って逆転勝利を目指すかでした。

ヘッドコーチのエディジョーンズ氏は、ショット(ペナルティゴール)と指示し、現場のスタッフもヘッドコーチの指示に従い五郎丸選手のためにボールを立てるためのキックティーを持ってフィールドに向かっていました。五郎丸選手のキックの精度や南アフリカの実力差を考えれば引き分けでも勝利に等しい価値といえるので、ペナルティゴールを狙うのは冷静に考えれば当然ともいえます。ですが、キャプテンのリーチマイケル選手がフェリリーに伝えたのはスクラムでした。レフェリーが両手でスクラムのジェスチャーを示した瞬間、「come on! Japan」と叫ぶ日本のジャージを着たイギリス人女性の姿を覚えておられる方もいらっしゃるのではないでしょうか。エディジョーンズ氏は当時この判断を「キャンブル」だと怒ったそうです。

では、本当に選手達は見込みのない「キャンブル」をしたのでしょうか、勝ちたいという気持ちだけで何の根拠もなく無謀な判断をしたのでしょうか。私が選手のインタビューなどを見聞きしたところでは、このように理解しています。

- ①. スクラムを選択した場面では、南アフリカのスクラムを組むフォワードの選手1人が反則で退場(シンピン)しており、人数的に日本が優位に立っていた。
- ②. この試合の中で同人数で何度か組んだスクラムでも日本は押し負けていなかった。
- ③. 日本の選手は世界一といわれる量と質の練習をこなし、当たり負けしない体を作り上げ、十分な技術も身につけていた。

このような根拠があったからこそ、トライが取れると確信しキャプテンはスクラムの判断をしたのです。つまり、彼らは徹底的な練習をし、ぎりぎりの場面で冷静に状況を分析し、そしてスクラムという的確な判断をしたのです。これはキャンブルではなく、明確な根拠に基づいた判断だったといえます。

我々弁護士も同じ事が言えます。法律改正や新しい法律・裁判例を勉強し、常に自己研に努めなければ良質なサービスを提供することができません。そして、お客様からご相談を受けたとき、お客様が置かれている状況を冷静に分析しなければ正しいアドバイスをすることができません。また、決断力がない弁護士は、お客様の利益を守るための的確な助言ができずお客様からの信頼を失ってしまいます。

私はこの試合に感動しただけではなく、選手のインタビューを見聞きすることで弁護士として仕事をしていく上で重要な示唆を得ることができたと思っています。

今後も歴史と伝統のある滝川ロータリークラブのメンバーとして

ふさわしい職業人であるよう研 究を続けて参りますので、皆様これからもよろしくお願ひいたします。



和泉 豊樹 会員

国際ロータリー第2510地区、新会員合宿セミナーに参加してきました。1月30日(土)31日(日)、場所は登別グランドホテル。

参集者:

この合宿セミナーは、2510地区では初めての開催であり、新会員の退会防止のため、嵯峨ガバナーの指示のもと行われたもの。出席した新会員の数は90名。うち女性は6名。(名簿ベース)入会3年未満の会員対象だが、中には入会6年目という参加者もいた。登別での開催と言うこともあって、胆振・日高地区からの出席者が多かったが、函館や留萌など遠方のクラブからも出席していた。主催者側からは、嵯峨ガバナーを始め、当クラブの松原ガバナー補佐ほかの各ガバナー補佐や地区幹事など28名が出席した。

概要:

初日は弘前アップルRCの開場講師の講演の後、グループ討論。1グループ8人位、10グループに分かれてブレインストーミングの形式。討論のテーマは、①ロータリーライフを楽しむために、②2510地区への要望・期待、③聞きにくい聞いてみたいことの3項目。

2日目は札幌真駒内RCの丸山講師の講演の後、グループ討論結果の発表を行い、午前中に閉会した。

まとめ:

セミナーの流れは以上の通りであるが、このセミナーの狙いは新会員の退会防止であり、そのためのいくつかの仕掛けという工夫があった。1つは部屋割り。4人一部屋を基本として、同じクラブから複数出席している場合は、別々の部屋にした。なお、女性は一人一部屋だったようです。もう1つは、初日夜の懇親会後はグループのどこかの部屋に集まって翌日のグループ討論結果の発表に向けたまとめをするよう呼びかけ、そのための酒やつまみを各部屋に準備したこと。これらは、グループ討論をきっかけに他のクラブ会員との交流を促進することを狙ったもので、最初は4人一部屋と聞いて「修学旅行かよ」と思ったりもしたんですが、終わってみれば知り合いが増えて他のクラブの様子もわかり、とても良かったと感じられる流れでした。来年もこのセミナーが行われる場合は、新入会員の方は参加すると良いかなと思います。

最後に、このセミナー参加について当クラブ事務局から助成(金銭的支援)をいただきました。おかげさまで、嵯峨ガバナーの思惑にずっぽりとハマる、貴重な経験をさせていただきました。お礼申しあげ、ご報告いたします。



熊谷 美由紀 会員

みなさんこんにちは、私は卓話といっても何を話しているのかわからないので自分のお店『ピアス』を開店するまでの話をしたいと思います。もともと21歳から31歳まで北酒連という会社に働いておりましたが、旭川に転勤が決まり母子家庭ということもあり退職後、どうしようかと思っていたところアルバイトをしていたこともあったので『遥』さんにお世話になることになりました。その後、ママに背中を押してもらってお店を出しました。その後、青年会議所を卒業した後はどの会にも所属していませんでしたが、ロータリークラブに声をかけていただき今に至っております。どうぞこれからもよろしくお願ひします。



佐藤 邦弘 会員

まずは2回の電気料金値上げにより、皆様には大きなご負担をお願いしておりますことにつきまして、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

私からは、当社に関する話題としてこの値上げの原因となった泊発電所の再稼働、そしてこの4月から始まります電力自由化について、お話をさせていただきたいと思います。皆様にお配りしております「あなたの電気」、これはメーターの検針時に毎月お配りしておりますものです。現在お配りしている2月号に、この再稼働、電力自由化について記載されておりますので、補足する形でご説明させていただければと思います。

まずは泊発電所の再稼働でございます。泊発電所は震災後の平成24年5月にすべて停止し、平成25年7月に国の安全審査が始まりました。既に2年半も審査が続いている状況です。審査の一番の論点で、これまで大半を費やしておりました基準地震動、簡単にいうと「どれぐらいの地震の大きさを想定するか」が昨年12月にやっと概ね了解いただきました。当社としては、審査も最大の山場を越えたという状況ですが、「じゃ~いつ再稼働するんだ」と言われますと、真ん中の図にありますように審査は大きく3項目あり、これからもまだ審査は続きますので、現時点ではいつという具体的な時期をお示しできません。ちなみに、昨年既に再稼働している九州電力は当社と同じ段階から1年半(関西は1年8ヶ月)ほどかかりました。ただ、当社は現在、審査に対して応援として100名ほど動員しております。また、九州電力のほかにも関西も最近再稼働しましたし、四国も審査が終了しており、これまでの審査の

経験を踏まえた効率的な進め方が期待できるところです。

このように九州電力より短縮できる可能性は十分ありますし、当社としましては、一日も早い再稼働に向けて全社をあげて取り組んでいるところでございます。また、2回目の値上げに際して、再稼働後は値下げすることが国の認可の条件となっております。営業運転後には早い時期に値下げになると思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

次に電力自由化です。この4月から電力小売全面自由化が始まります。最近新聞、テレビでも取り上げられることが多く、皆様もご関心があるかと思います。4月からはご家庭を含めた全てのお客さまが電力会社を選ぶことができます。当社を含めた地域の電力会社だけでなく、新電力と呼ばれますが、ガスなどのエネルギー業界だけでなく、携帯、ケーブルテレビ、HISなど、あらゆる業界から参入されるようです。北海道でも10社前後が参入される予定であり、当社より数%~10%安い料金、セット割引、ポイント付与などのサービスが予定されております。当社につきましては、4月以降もこれまでのご契約を、特に手続もなく継続していただけます。また、使用量が比較的多いお客さま向けの新メニューやポイントサービスも予定されております。ただし、ポイントサービスはインターネット上でのWEBサービスとなっております。また、当社は新電力から使用料をいただいて送電するということで、どの電力会社のお客さまに対しても責任をもって電気をお届けする電力設備を管理することは変わりません。安心して電気をお使いいただきたいと思います。なお、4年後には送配電部門が分社化することも決まっております。現在、社内でもどのような形にするのか、地域対応をどの部門が所管するか等検討しているところでございます。

電力自由化については、情報はあふれておりますが、よくわからないこともあるかと思います。ご不明な点等ございましたら、ご説明させていただきますのでお申し付けいただければと思います。泊発電所の再稼働、電力自由化と、今年は当社にとって正念場でございます。そのような状況でも、これまで同様に地域の皆様のご理解をいただきながら安全供給に努めて参りたいと思ひます。

ニコニコBOX

神部 洋史会員

商工会議所と北門信金さんのご協力で、街中再生計画にのっとり医療介護施設を建設することになり、プレス空知に記事が掲載されました。

奥野 巧会員

久しぶりに例会出席して。

和作 康市会員

結婚祝いをいただいて。

関藤 龍也会員

結婚祝いをいただいて。

畠山かおる会員

誕生祝いをいただいて。

村田 雅彦会員

新入会員卓話をさせていただきます。

熊谷美由紀会員

新入会員卓話をさせていただきます。

佐藤 邦弘会員

新入会員卓話をさせていただきます。

和泉 豊樹会員

新会員合宿セミナー参加の機会をいただき、有難うございます。

卓話をさせていただきます。

高山 訓正会員

幹事のニコニコBOX報告代役、ご苦労様です。

米倉 慎一会員

担当例会を無事終えて。後は、会員数を減らさないために、会員各位のご健闘を祈念いたします。

会長/宮崎 英彰
幹事/渡辺 浩司
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。